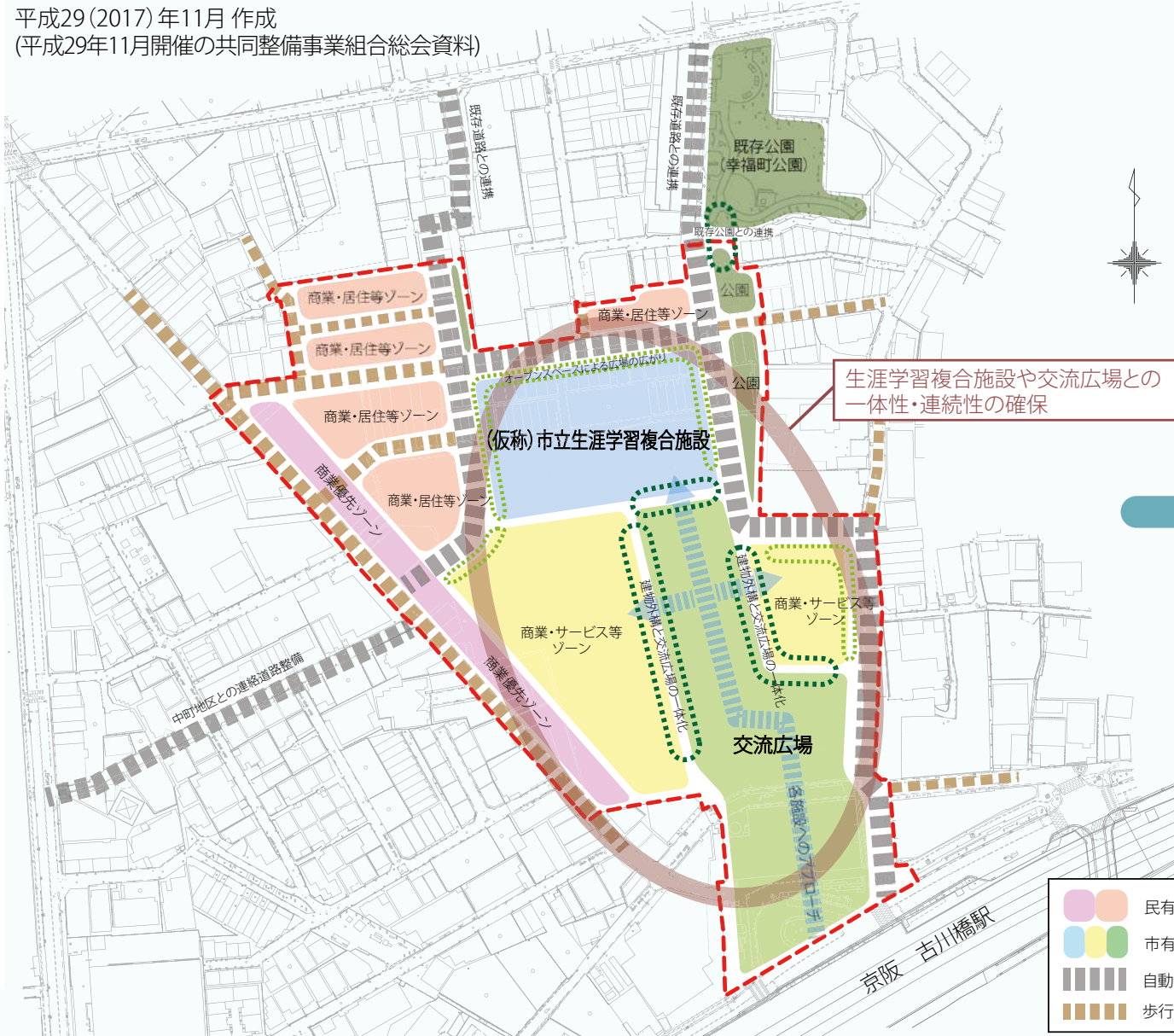


【施設配置イメージ案の変更について】

門真市幸福町・中町まちづくり基本計画（平成21（2009）年3月）

門真市の顔となる魅力的で質の高い「賑わい交流ゾーン」として様々な都市機能の集積・複合化

平成29（2017）年11月 作成
（平成29年11月開催の共同整備事業組合総会資料）



平成30(2018)年 5 月 作成



(1) 商業・サービス等ゾーン について

- ①民間企業への市場調査の結果を踏まえ、高層共同住宅・商業・サービス等ゾーンとする
- ②民間事業者が効率的・有効的な土地利用をできるように一団の敷地とする（高度利用が可能な敷地）

(2) (仮称) 市立生涯学習複合施設 について

- ①交流広場との接続や、周辺施設との一体性・連続性を確保する
- ②市民や利用者に配慮し、駅から近く来館しやすい東側に配置する

(3) 公共施設（道路・広場）について

- ①道路については、各ゾーンの利用形態に応じた幅員構成や接道を設定する
- ②交流広場については既存の駅前広場を活用し、(仮称)市立生涯学習複合施設への歩行者動線の確保及び賑わいのもてる適正な規模及び配置とする

※施設配置イメージ案の変更については、民間企業への市場調査の結果及び各法令に基づいて変更

【(仮称) 市立生涯学習複合施設について】

・(仮称) 門真市立生涯学習複合施設建設基本計画における図書館機能を核とし、現在の基本コンセプトである「地域とともにコミュニティを育む文化・学習の交流拠点」のもと、本市のまちづくりの状況や社会情勢の変化を踏まえ、導入する機能で設定された諸室を集約するとともに、関係附属機関等の意見を踏まえつつ、既存の他施設との連携・機能分散を検討する

【今後について】

- ・高層共同住宅・商業・サービス等ゾーン（市有地）については原則売却とし、公募型プロポーザル方式等による民間事業者の選定方法を検討し、良質な共同住宅や立地環境に応じた商業・サービス等の民間施設を誘致する
- ・(仮称)市立生涯学習複合施設については、建設・維持管理コストの観点や既存施設の活用を検討するとともに、都市再生整備計画事業などの交付金導入に向けて調整を図る